

# 山口県の植物さんぽ(6)

国の天然記念物の植物・山口市編



今回は、県立山口博物館から近い所(山口市内)にあって、国の天然記念物に指定されているすごい植物を紹介します。その中にはかなり有名なものもあり、既に見たことがある植物もあるかもしれません。全部見たことがある人は少ないのではないのでしょうか?それでは、山口市内で国の天然記念物に指定されている植物の「植物さんぽ」をお楽しみください(現状は、記事の写真と異なっている場合があります。訪問される場合は事前にご確認ください)。



## ⑤ 出雲神社のツルマンリョウ

ツルマンリョウは、草のように見えますがヤブコウジ科の常緑小低木です。神社の西側にある急な斜面をよじ登らないといけないので、見るのは大変です。台湾など暖かい地方に見られ、本州では、この場所と宇部市、奈良県でしか自生は見られません。

今回は、山口市内で国の天然記念物に指定されている貴重な植物を紹介しました。このようなすごい植物が県内にはまだまだたくさんあります。

当館で、4月25日から開催予定の企画展「やまぐち植物さんぽ

【I】「植物ってすごい、おもしろい、ふしぎ!」では、こうした県内や周辺地域のすごい植物の紹介だけでなく、植物学者の牧野富太郎などが作製した明治時代の貴重な植物標本、沖縄や世界の珍しい植物なども展示します。山口市内の「植物さんぽ」のついでに、当館にもぜひお立ち寄りください。

杉江喜寿(学芸課主任)▽次回は21日です。

は8・5m、高さは約35mあります。このスギは、下部の方から大きく枝分かれしています。



## ① 平川の大スギ

平川の大スギは、吉田(山口大がある周辺)の雑木林の中に入り、林の中を歩いていくと突然その巨体が見えます。遠目に見ると巨大な一株に見えますが、数株がくっついているようです。目の高さ(目通り)の幹回り

## ③ 龍蔵寺のイチヨウ

吉敷の龍蔵寺の境内にあるこのイチヨウの木は、目の高さの幹回りが6・7mで、高さは約50mもあります。台風で枝が折れたりしましたが、それでも高



さは日本有数と言われている。秋に落葉して境内が黄色の葉で埋め尽くされる様子は、山口市の秋の風物詩になっています。

## ④ 法泉寺のシンパク

シンパクという名前は聞き慣れないかもしれませんが、ヒノキ科で一般的にはイブキまたはジャクシンと呼ばれるものです。県庁(滝町)の西側にあり、平川の大スギと同様に数本の木がくっついていてるように見えますが、こちらはもともと一本の木です。



## ② 小郡のナギ

自生地北限地帯

小郡にあるこのナギは、マキ科の常緑高木です。ナギの葉は、一見すると広葉樹のように見えますが、マツやスギと同じ針葉樹の仲間です。沖縄県など主に暖かい地方で見られ、自生地としては北



限とされています。山林の中の狭い道を歩いて登って行かないと見られません。



山口県立山口博物館  
TEL083-922-0294  
月曜休館(祝日の場合は翌日)。最新情報はホームページで。

